

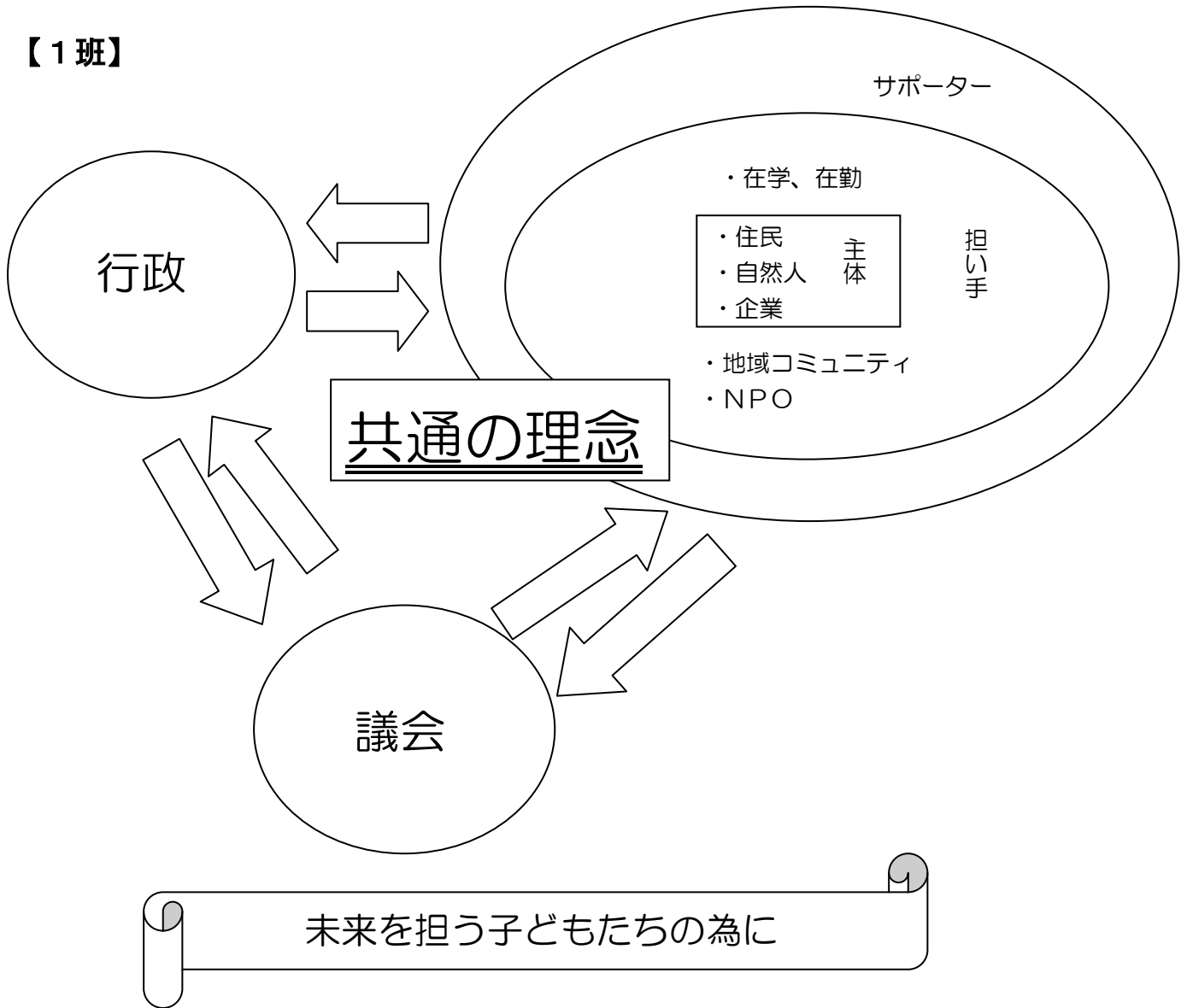
第5回焼津市自治基本条例を考える市民会議

～各班の成果・まとめ～

平成24年2月19日（日）実施

●テーマ：「焼津市自治基本条例・はじめの一步案」の検討

【1班】



【2班】

「焼津」を「〇〇（他市町）」に変えれば成り立ってしまうものではなく、「焼津」らしさ、「焼津」ならではのものを盛り込むべき。

☆地場産業を活性化して、「焼津」ブランドを高める

- ・企業はPRする
- ・企業は勉強してもらう機会を創出する
- ・産業の活性化により住民を増やす
- ・一人ひとりが焼津の産業を理解する
- ・一人ひとりが勉強する

- ・一人ひとりが焼津をPRする
- ・水産高校を残してほしい
- ・都市間競争に強いまちづくり
- ・産業育成

〈全体的話し合いで追加された意見など〉

焼津らしさといっても色々ある → コミュニティで決めることも

⇒担えるか？ みんなで議論し、時には妥協もして物事を決められるように

☆広域行政を進めて、効率化と交流人口を増やす

- ・広域行政
- ・オール焼津にするにはどうしたらよいか？
- ・焼津の人同士はつながりやすい
- ・外からの人も受け入れやすくする
- ・開放的なまちづくり

〈全体的話し合いで追加された意見など〉

外から入ってくるものを排除するのではなく、良いものはどんどん取り入れる → 発展

「住民」とそれ以外 重みの違いはある

☆平和を世界にアピールするまち

【3班】

☆幸福度が高いまち、満足度が高いまち

- ・「満足度の高いまち」
- ・日本一幸福度が高い

☆新しい型のコミュニティ

楽しい { 場所をつくる
人を育てる を目指す
しくみを作る

- ・地域コミュニティ（自治会）の活性化
- ・自由、自立的な雰囲気
- ・人づくり、場所づくり
- ・既存の枠組みを超える
- ・絆を深めるまち、手をつなぐまち
- ・輪になろう、つながろう！手をつなごう
- ・人が集まるまち（観光、住む）
- ・新しい「つながり」のかたち
- ・「つながり」の「しくみづくり」「場づくり」

☆まちづくりのすべての情報に自由に簡単にアクセスできる

☆育児の不安のないまち

- ・乳児健診の場の利用など
↓
・新しい型のセーフティネットを作る

☆「LOVE やいづ」

- ・既存のイベントの見直し(地域のおまつり等)
“楽しくない”従来型のイベントから“楽しい”イベントへ

☆国際的なまちをつくる

- ・観光拠点として、コミュニティとして

☆「住民」より「市民」⇒条例の主体

【4班】

☆言葉の定義（市民、行政、まちづくり、協働、自治）

☆適切なコミュニティの範囲

例 小学校区単位など

〈全体的話し合いで追加された意見など〉

現状は中学校区単位（9地区）にそれぞれ公民館があり、コミュニティの拠点となっている

☆焼津らしさ（これからの焼津らしさ）

昔は「安心感」「ざっくばらん」があった → それらを大切にしながら、これからの「らしさ」を

【5班】

☆みんなの“関心”を呼び込むまち

☆“言いやすい”仕組みのあるまち

☆情報発信の方法（紙媒体、電子媒体）

☆わかりやすい“問いかけ”が出来るまち

〈全体的話し合いで追加された意見など〉

コミュニティにも色々なものがある → 埋もれているコミュニティの声も聴く